

広島県経済の動向

令和4年11月15日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	8月	9月	10月
基調判断	景気は、緩やかに持ち直している		
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しの動きがみられる		
設備投資	持ち直しの動きがみられる		持ち直している
雇用情勢	持ち直している		
個人消費	緩やかに持ち直している		
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している		

(2) 先行き

先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和4年10月25日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	7月	9月	10月
基調判断	緩やかに持ち直している		
輸出	供給制約の影響が和らぐもとで、 持ち直している		
生産	供給制約の影響が和らぐもとで、 持ち直している		
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	一部に弱い動きがみられるものの、 全体としては緩やかに改善している		
個人消費	持ち直しつつある		
住宅投資	横ばい圏内で推移している	貸家・分譲を中心に持ち直している	

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、物価動向や供給制約、感染症などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年11月4日公表）】

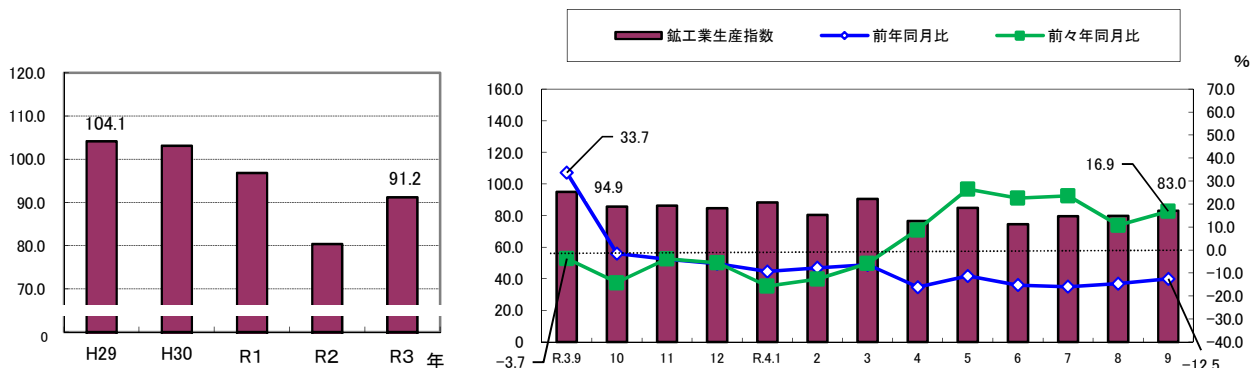
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年9月)

9月の鉄工業生産指数(鉄鋼業, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は83.0で, 前年同月比で12.5%減少, 前々年同月比16.9%増加となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

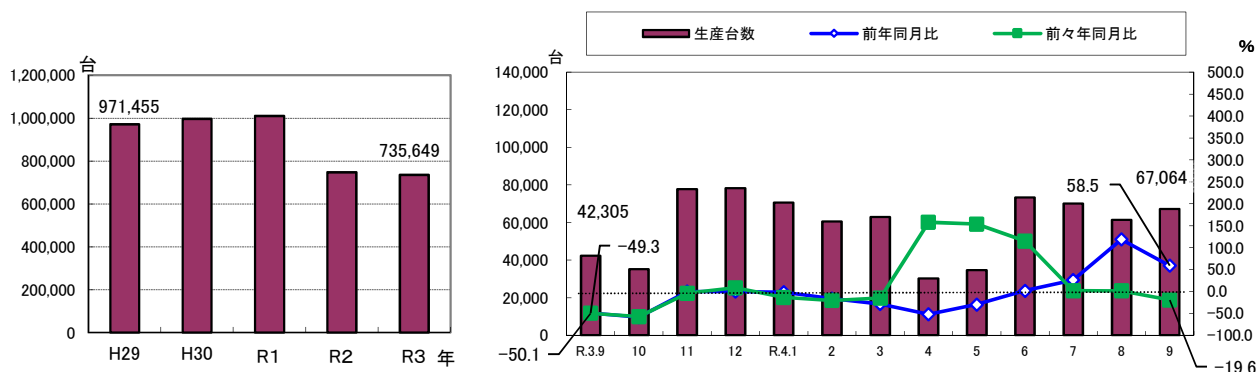


2 自動車(令和4年9月)

9月の国内生産台数は67,064台で, 前年同月比で58.5%増加, 前々年同月比19.6%減少となっている。

自動車生産台数(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】

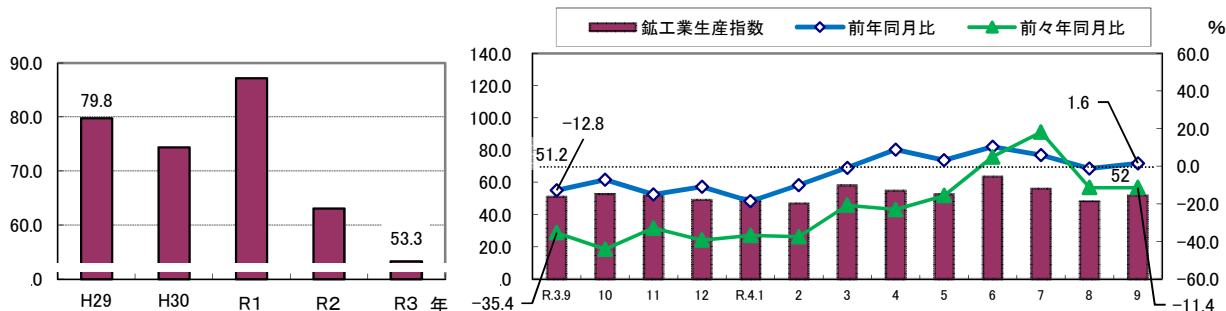


3 造船(令和4年9月)

9月の鉄工業生産指数(造船部門, 原指数, 速報値, 平成27年=100)は52.0で, 前年同月比で1.6%増加, 前々年同月比11.4%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

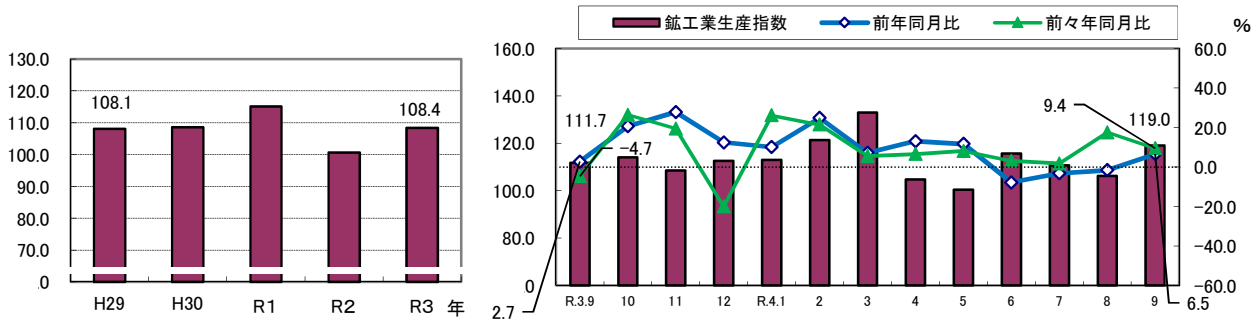


4 一般機械(令和4年9月)

9月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は119.0で, 前年同月比で6.5%増加, 前々年同月比9.4%増加となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】

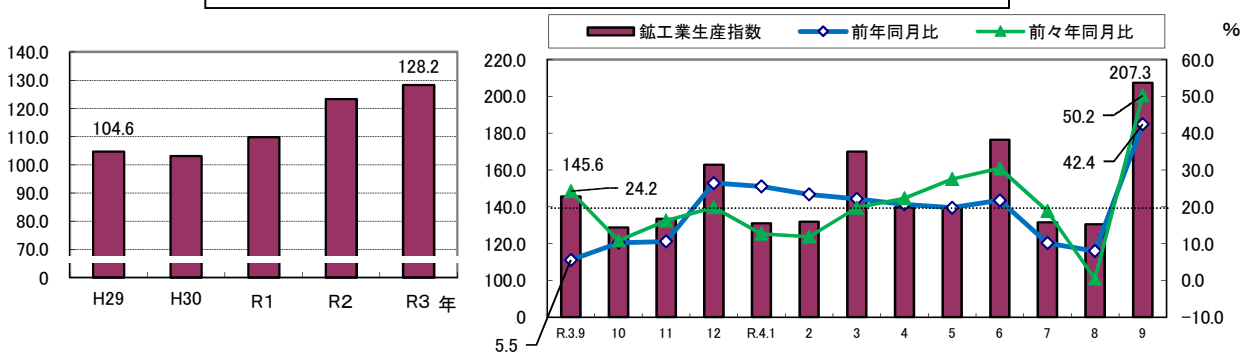


5 電気機械(令和4年9月)

9月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合), 原指数, 速報値, 平成27年=100)は207.3で, 前年同月比で42.4%増加, 前々年同月比50.2%増加となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比・前々年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和4年9月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年10月15日時点）】

1 概況

原材料等の価格高騰，物流停滞による部材等の調達難，深刻な円安，新型コロナウイルスなど様々なマイナス要因が積み重なっており，依然として中小企業にとって見通しの立たない苦しい状況が続いているため，今後の動向を注視していく必要がある。

自動車関連業種では，国内自動車販売台数は前年同月比+24.1%と15ヶ月振りに好転となる一方で，マツダ車は+57.7%となった。また，マツダ車の海外販売合計台数に関しては，前年同月比▲7.9%と，13ヶ月連続の前年比マイナスとなった。

木材業界では，全国住宅着工戸数は前年同月比+1.0%，広島県内の着工戸数は前年同月比▲21.0%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は9月分のデータを掲載

2 景況感・景況感の変化

業種	8月の景況感	9月の景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	普通
金属製品	普通	普通

業種	8月の景況感	9月の景況感
一般機械器具	普通	やや悪い
電気機械器具	普通	やや好況
自動車部品	やや悪い	普通
造船	普通	普通
建設	やや悪い	普通
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	8月	9月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	1	1
普通	5	7	2
やや悪い	14	11	▲3
悪い	1	1	0

3 前月(8月)から変化のあった主な業種

業種	8月の景況感	9月の景況感	変化の理由・状況
プラスチック製品	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料価格等の高騰が予想以上であり、値上げ分を製品単価へ転嫁することが難しく、事業採算を大きく圧迫している。 ・自動車関連は、回復傾向が見られるが、不透明感が強い。 <p>【広島県プラスチック工業会】</p>
鉄鋼	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動の制限が緩和されたことにより、9月の景況感は若干好転している様に感じるが、今後の感染拡大の状況次第で再び悪化する可能性がある。 <p>【靱鉄鋼協同組合連合会】</p>
電気機械器具	普通	やや好況	<ul style="list-style-type: none"> ・新規受注はやや鈍化しているものの、増加していた受注残が売上に反映されてきたため、売上は前月比20%増加、前年同月比35%増加となった。依然として部材の調達難や価格の高騰は継続しているが、設備の納期遅れは若干改善されてきた。また、製造装置分野でも、半導体需要の減速が要因となり、中国向けの電子部品の輸出が減少している。 <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>
建設	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・新築物件の減少が要因となり、カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計では9月は前月比41.1%増加、前年同月比▲9.8%。前年累計比▲1.2%となり、一昨年の累計比では▲37.8%、3年前の累計比では▲32.9%であった。新築件数が少なく、今年度は低調な状況が続く可能性が高い。 <p>【広島県室内装飾事業協同組合】</p>

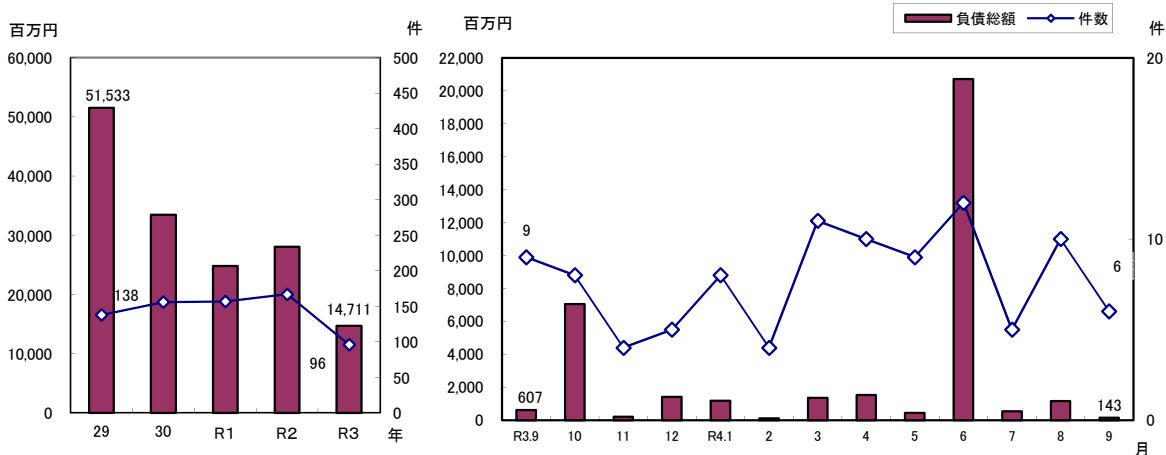
IV 企業倒産状況(令和4年9月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が6件、総額1億4,300万円であった。
- ・前月比で件数は4件減少し、負債総額は10億2,200万円減少した。
- ・前年同月比では、件数は3件減少し、負債総額は4億6,400万円減少した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）の発生はなかった。

区 分	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月
件 数 (前年同月比)	5件 (66.7%増)	10件 (11.1%増)	6件 (33.3%減)
負債総額 (前年同月比)	538百万円 (56.6%減)	1,165百万円 (116.9%増)	143百万円 (76.4%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、建設業が3件、サービス業2件、卸・小売・飲食業が1件となった。

負債総額では、建設業、サービス業、卸・小売・飲食業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が6件であった。

4 今後の見通し

令和4年9月度の倒産件数は6件と前年同月比3ヵ月ぶりの減少となり、令和2年5月以降29ヵ月連続で20件以下の低水準が続いており、新型コロナウイルス感染拡大後に打ち出された実質無利子・無担保融資（ゼロ・ゼロ融資）などの制度融資や雇用調整助成金などの各種支援策の効果は継続して倒産は抑制された状態にある。ただ、新型コロナウイルスを要因とした倒産は9月度6件中4件発生し、これまでの累計は91件（負債総額1,000万円未満を除く）となり、コロナ禍での各種支援策によって深刻な打撃を乗り越えた中小零細規模の企業の中には業績回復の先行きが立たず、令和4年に入り倒産に至るケースも見受けられ、倒産に占める新型コロナウイルス関連倒産の割合は高まりつつある。

広島県内でも新型コロナウイルスの新規感染者数は7月中旬以降急増し、8月では過去最大となる感染者数が発生するなか、外出自粛や移動規制の動きは見られず、それに伴いコロナ関連の雇用調整助成金は10月から助成金額引き下げとなるなど、各種支援策が抑制されつつある。各種支援策に依存していた飲食業界のなかでも業績回復が進まない企業にとっては今後の支援策に期待ができず、厳しい営業環境が続いている。また、建設業界では資材の調達難や高騰による採算悪化、資金繰りの多忙化などの影響が生じ、県内の最低賃金に於いては令和4年10月から3.45%アップの930円となるなど、ヒト・モノ・カネ全てにおいて負担が増している。

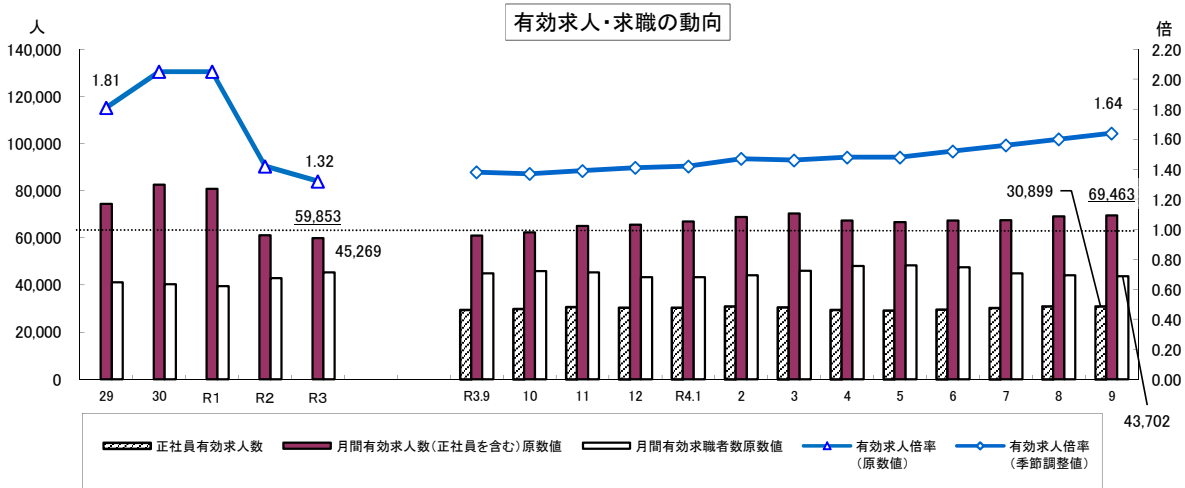
新型コロナウイルス感染拡大後に打ち出された実質無利子・無担保融資（ゼロ・ゼロ融資）などの制度融資は令和2年より開始され、大半の企業が2023年春より返済が開始するが、先述の通りコロナ禍での各種支援策が抑制されるなか、中小零細規模の企業では採算確保に向けた競争力の維持が必要不可欠である。また、円安や流通鈍化に伴う原材料の価格高騰などの外的要因を含め資金繰りが更に逼迫する可能性がある。

V 最近の雇用失業情勢(令和4年9月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.56倍 (+0.04ポイント)	1.60倍 (+0.04ポイント)	1.64倍 (+0.04ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.15倍 (+0.08ポイント)	1.19倍 (+0.1ポイント)	1.19倍 (+0.1ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

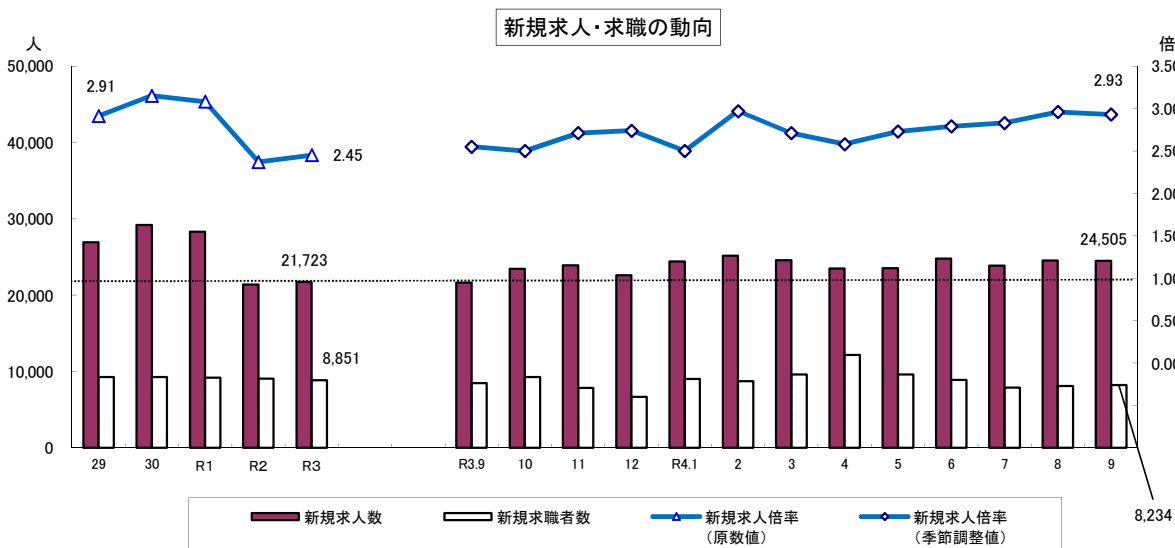
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.83倍 (+0.04ポイント)	2.96倍 (+0.13ポイント)	2.93倍 (▲0.03ポイント)

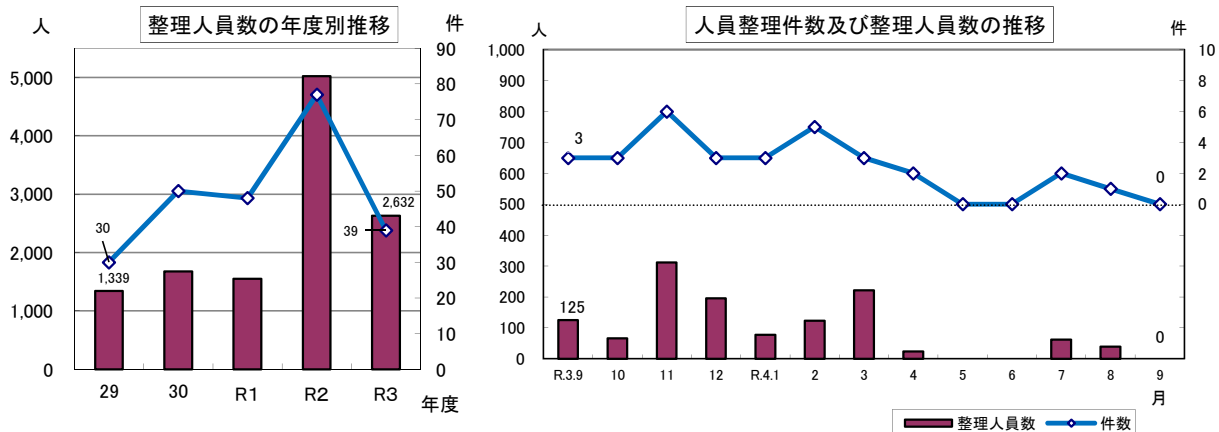
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月
件数 (前年同月比)	2件 (▲ 1件)	1件 (▲ 2件)	0件 (▲ 3件)
整理人員 (前年同月比)	62人 (▲ 4人)	39人 (▲ 149人)	0人 (▲ 125人)

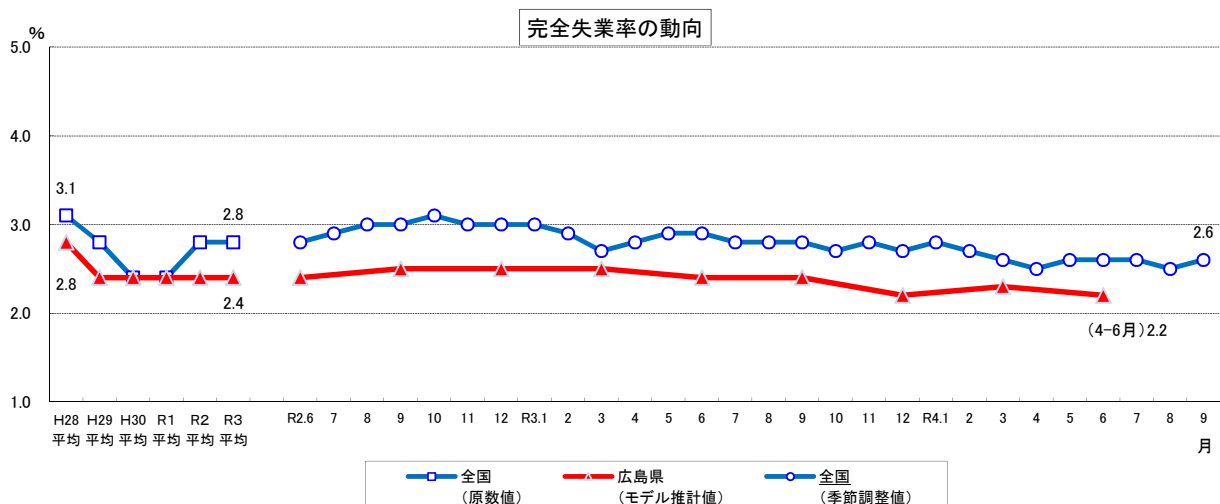


4 完全失業率の状況

区 分	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月
全国完全失業者数 (前年同月比)	176万人 (▲17万人)	177万人 (▲17万人)	187万人 (▲7万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.6% (±0ポイント)	2.5% (▲0.1ポイント)	2.6% (+0.1ポイント)

区 分	令和3年	令和4年	
	10~12月平均	1~3月平均	4~6月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.2% (▲0.3ポイント)	2.3% (▲0.2ポイント)	2.2% (▲0.2ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1~3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。